

# 水戸信用金庫 News Release

2015年1月7日

## 茨城県内中小企業、3期ぶり業況改善するも先行きに不透明感

— 第53回みとしん景気動向調査(2014年12月期)結果 —

当金庫は、第53回みとしん景気動向調査(調査基準月:2014年12月)を実施し、調査結果を取りまとめましたので公表します。

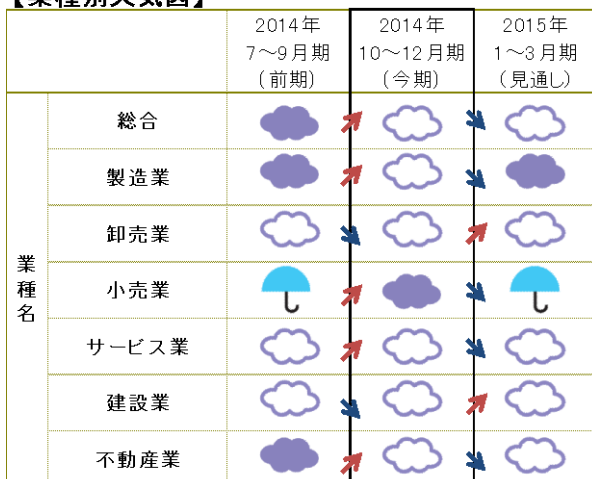
### 1. 概況

今期(2014年10~12月期)の茨城県内中小企業の業況判断D.Iは▲3.8と、前期(2014年7~9月期)比3.3ポイントの改善となり、3期ぶりに業況改善となった。前期比売上額判断D.Iは2.3と前期比6.7ポイント改善、同収益判断D.Iも▲4.0と前期比4.0ポイント改善になり、2期連続の改善となった。また、残業時間判断D.Iおよび設備投資実施企業割合も2期ぶりに増加に転じるなど、持ち直しの動向が見られる一方、来期の売上額判断D.Iおよび収益判断D.Iは、それぞれ今期比9.9ポイント、8.2ポイントの悪化を予想しており、先行きに対する不透明感が伺える結果となった。

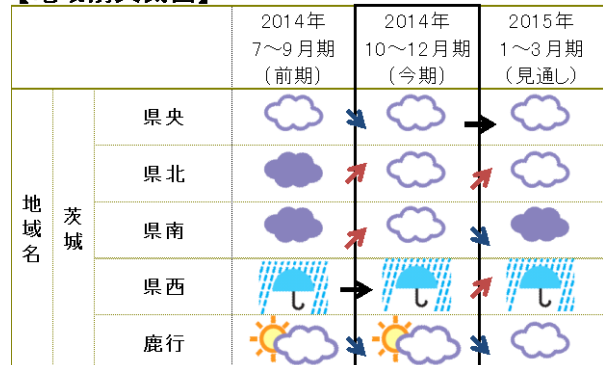
販売価格判断D.Iは4.4と前期比0.4ポイントの小幅な減少に対し、仕入価格判断D.Iは前期比3.4ポイント増加の24.4となった。販売価格判断D.Iと仕入価格判断D.Iの差は20.0ポイントとなっており、過去2年間の平均や消費税増税直後(2014年4~6月期)の調査値よりも大きく、円安基調の経済情勢や原材料費高騰の影響が及んでいると思われる。

来期(2015年1~3月期)の見通しについては、業況判断D.Iが▲5.7と、今期比1.9ポイントの悪化を予想している。業種別では卸売業および建設業を除く4業種で、地域別では県北および県西を除く3地域で横ばいまたは悪化を予想しており、業況改善の動きが現れ始めた県内中小企業の動向が今後どのように転じるかが注目される。

【業種別天気図】



【地域別天気図】



この天気図は、景気指標を総合的に判断して作成しております。

(天気マークの目安)

好調 ← → 低調

## 2. 業種別業況

### (製造業) 今期改善、来期予想は悪化

今期の業況判断 D.I は▲5.5 と、前期比 4.3 ポイントの改善となった。前期比売上額判断 D.I は 1.1、同収益判断 D.I は▲3.3 と、それぞれ前期比 4.4 ポイント、3.2 ポイントの改善となった。資金繰り判断 D.I は▲15.4 と前期比 5.5 ポイントの悪化となっている。

来期の予想業況判断については▲12.1 と、今期比 6.6 ポイントの悪化を予想している。

### (卸売業) 今期悪化、来期予想は改善

前期時点で 10.3 ポイントの大幅改善を予想した今期の業況判断 D.I は▲3.4 と、前期比 1.7 ポイントの悪化となった。前期比売上額判断 D.I は 12.1、同収益判断 D.I は 0.0 と、それぞれ前期比 6.9 ポイント、5.2 ポイントの改善となった。また、資金繰り判断 D.I も▲8.6 と、前期比 8.6 ポイントの改善となっている。

来期の予想業況判断 D.I については 1.7 と、今期比 5.1 ポイントの改善を予想している。

### (小売業) 今期改善、来期予想は悪化

今期の業況判断 D.I は▲14.4 と、2 期連続となる前期比 3.2 ポイントの改善となった。前期比売上額判断 D.I は▲8.9、同収益判断 D.I は▲11.1 と、それぞれ前期比 15.3 ポイント、9.8 ポイントの大幅改善となったが、依然、業況・売上・収益ともにマイナス圏となっている。資金繰り判断 D.I は▲23.3 と、前期比 7.9 ポイントの悪化となっている。

来期の予想業況判断 D.I については▲22.2 と、今期比 7.8 ポイントの悪化を予想している。

### (サービス業) 今期改善、来期予想は悪化

今期の業況判断 D.I は 3.4 と、前期比 9.1 ポイントの改善となった。前期比売上額判断 D.I は 2.3、同収益判断 D.I は▲1.1 と、それぞれ前期比 4.6 ポイント、8.0 ポイントの改善となった。資金繰り判断 D.I は▲19.3 と、前期比 6.8 ポイントの悪化となっている。

来期の予想業況判断 D.I については 0.0 と、今期比 3.4 ポイントの悪化を予想している。

### (建設業) 今期悪化、来期予想は改善

今期の業況判断 D.I は▲2.1 と、前期比 4.3 ポイントの悪化となった。前期比売上額判断 D.I は 10.6 の 0.8 ポイント改善となったものの、同収益判断 D.I は 0.0 と、5.4 ポイントの悪化となった。資金繰り判断 D.I は▲12.8 と、前期比 10.6 ポイントの大幅悪化となっている。

来期の予想業況判断 D.I については 4.3 と、今期比 6.4 ポイントの改善を予想している。

### (不動産業) 今期大幅改善、来期予想は悪化

今期の業況判断 D.I は 1.8 と、前期比 10.7 ポイントの大幅改善となった。前期比売上額判断 D.I は▲1.8、同収益判断 D.I は▲9.1 と、それぞれ前期比 8.9 ポイント、3.4 ポイントの改善となった。また、資金繰り判断 D.I は▲16.4 と前期比 0.3 ポイントの小幅な悪化となっている。

来期の予想業況判断 D.I については▲1.8 と、今期比 3.6 ポイントの悪化を予想している。

### 3. 特別調査「2015年(平成27年)の経営見通しについて」

茨城県内中小企業の2015年の経営見通しについて調査を実施した。

2015年の日本の景気について、「良い(非常に良い、やや良いを含む)」と回答した企業は合計12.4%に留まり、「悪い(非常に悪い、やや悪いを含む)」と回答した企業が大きく上回った(合計45.4%)。2015年の自社の業況についても同様に、「良い」(合計10.9%)の回答より、「悪い」(合計35.7%)の回答が上回る結果となった。

2014年と比較した2015年の自社の売上高については、「変化なし」と回答した企業が51.3%と最も多く、「増加する」(合計24.8%)、「減少する」(合計23.9%)と回答した企業はほぼ同数となった。増加および減少の伸び率については、ともに「10%未満」との回答が多く、それぞれ16.6%、19.5%となった。

自社の業況が上向く転換点については、「すでに上向いている」と回答した企業は12.0%となっており、5割弱の企業において「1年後超」と回答している(合計49.8%)。また、「業況改善の見通しは立たない」と回答した企業は31.5%となった。

消費税増税の影響について、昨年4月に8%に引き上がった際の影響は、「あまり影響がなかった」との回答が最も多く、45.4%となったが、現在は「回復途中」(23.3%)や「回復した」(15.5%)を含め、「悪影響を受けた」と回答した企業は合わせて5割に達した。また、今後、10%へ引き上がる際の影響については、「悪影響を受ける」と回答した企業は合わせて約6割となり、「あまり影響は受けない」と回答した企業(25.0%)を大きく上回り、消費税増税の影響の大きさが伺える結果となった。

### 4. 調査の概要

#### (1)D.I 値算出方法

各質問事項で「増加した」(良い)とする企業が全体に占める構成比と、「減少した」(悪い)とする企業の構成比との差により算出する。

#### (2)調査実施時点

2014年12月

#### (3)調査方法

当金庫担当者による聞き取り

#### (4)調査対象

当金庫取引企業 500社(茨城県内)

(製造業 93社、卸売業 59社、小売業 98社、サービス業 93社、建設業 98社、不動産業 59社)

#### (5)回答企業数

476社(回答率95.2%)

本調査結果は、当金庫が信頼できると考える各種データに基づき作成していますが、当金庫が正確性および完全性を保証するものではありません。

【本件についてのお問合せ先】

水戸信用金庫 地域活性支援部 副調査役 平松 良崇

Tel 029-222-3315